

教科「情報」実態調査結果(教育の状況)

○教科「情報」における①指導実施、②重要と認識、③指導に自信がある内容

- 高等学校等の教科「情報」では、ワープロソフトや表計算ソフトのようなアプリケーションの基本操作、文字入力・タイピングやブラウザによるインターネット上の情報検索のような情報活用のための基本操作が多く指導されている。一方で、これらの項目はそれほど重要とは認識されていない。
- 基本操作に次いで、情報社会と情報に関わるモラルに関する内容が指導されている。この分野については、重要性の認識も高いが、指導への自信はあまり高くない。
- モデル化とシミュレーション、アルゴリズムとプログラミングなど、情報の科学的な理解・問題解決に関する内容はあまり指導されていない。また、あまり重要とも考えられていない。

